

本校の使命

地域のモデルとなる
教育・研究を進める学校

県教育委員会が推進する第7次山形県教育振興計画の趣旨と合致する先導的な授業モデル、及び教員が協働して授業改善に取り組むプロセス、並びに教育課程編成等に係る研究を積み重ね、それらの具体的な視点等について研修会等を通して県内外へ発信する。

附属学校園の子どもを健全に育てる学校
学校教育目標

『太陽の子』本質を見極める
常に希望に燃え、創造力豊かな子ども
『北国の子』強い意志をもつ
困難に打ち勝ち、強い心と体をもつ子ども
『日本の子』高い価値をめざす
日本人として誇りをもち、たけまづ学ぶ子ども

養成から研修まで
教員を育てる学校

教員の養成・採用・研修の一体的改善を目的とする「山形県教員「指標」」を活用し、実践力をもった教員養成に資するとともに、県教育委員会と連携しながら、教員の資質・能力の一層の向上を図る。

めざす子どもの姿

〈研究テーマ〉
自ら問題解決を進める子ども（4年次）
○子どもが事象と関わる中でもった思いや願いを出発点に、自らの見方・考え方を働かせて事象に関わり、問題解決を進めていくことができる教育実践を追究する
☆校内授業研究会（年間）
☆公開型研修・研究会
①学習指導研究協議会（5月）
②日本生活総合学会全国大会（6月）
③秋の研究協議会（11月）

経営の方針

山形大学附属小学校としての
『地域の先』を見通した『特色ある教育』を創る
幼・小・中をつなぐ問題解決学習
●子ども自身が「問い」をもち、解決の過程で学びのよさを実感し、これまでの学びを生かすことで問題解決力を習得する。
郷土 Yamagata に根ざし広い視野を育む学習
●山形県の自然・歴史・文化・産業等を学ぶ過程で郷土のよさを知り、「グローバルな視座」のもと未来を切り拓く力を習得する。

めざす教師の姿

○「一期一会」を大切にす教師
○自ら学び続ける教師
○子どもへの深い愛情と洞察力をもつ教師
○学校経営に積極的に参画する教師
→限られた時間で最大の教育成果を得る組織運営力の向上（Time is Life）
望ましい保護者の姿
○子どもの思いを受けとめ、支え、希望を与える保護者
○子どもを指導できる責任ある保護者
○保護者同士の理解を深め合い支え合う保護者

経営の重点

すべての子どもと教職員が「安心」と「生き甲斐」を感じられる学校を創り、児童一人一人が「自己の発達の可能性を最大限に発揮する」ことができるようにする。

信頼される
学級・学年・学校づくり

○「4つの誓い」を常に意識した実践活動の展開
①さわやかで元気なあいさつ
②話は目と耳と心で聴く
③小さな社会人として地域のお手本になる
○児童の生命健康・人権を守るための迅速かつ適切な組織対応
○ICT等を効果的に活用した情報共有による家庭との連携
○PTA・同窓会・地域・附属学校園運営協議会・学校評議員会等と連携協力した教育活動の展開

「自ら問題解決を進める子ども」が育つ
教育課程の工夫と授業改善

○附属小の特色を生かした教育課程の推進と自律的な学びを促進する教育環境の整備充実
①教育活動の目的と手段を明確化した学年・学級カリキュラム
②指導と評価の一体化
③授業と家庭学習を往還する自律的な学び
○遊びと学びをもとに、仲間の輪・和を広げる異学年交流活動（みのり班活動）の推進と豊かな体験活動の充実
○幼・小・中をつなぐ探究的な学び、英語教育及び教育情報化推進に係る各コーディネータの専門性を生かした英語教育・GIGAスクールの推進

児童個々の課題に応じた
指導・支援の充実

○「生徒指導の5つの場」を生かす諸教育活動の展開
①自己決定 ②自己存在感
③人間的ふれあい ④相手との関わり
⑤発達の可能性を最大限に発揮
○まつまみ支援室を核とした子ども理解の共有・深化、及び「すべての子どもが安心して学べる」教育環境の充実
○特別支援コーディネータ、スクールカウンセラー等の専門性を生かして展開する個々に応じた切れ目のない支援

教育活動全体で行う道徳教育の方針および重点

1 道徳教育の方針
○学校教育目標（『太陽の子』・『北国の子』・『日本の子』）に基づき、希望と勇気、強い意志と、日本人としての誇りをもって学び続ける子どもを育てる。
○附属学校園で学び合う仲間「友だち」を大切にす子どもを育てる。
○山形県の子どものとして「いのち」（生命と生き方）を尊重する子どもを育てる。
2 道徳教育の重点
○生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。
○友だちと互いに信頼し合い、学び合っって友情を深め、助け合いながら人間関係を築いていくこと。
○希望と勇気もち、困難があってもくじけず努力して物事をやりぬくこと。
○我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと。

附属小学校では、学校教育目標「太陽の子・北国の子・日本の子」をめざし、未来をひらく教育を進めます！

令和7年度 大テーマ

3つの「ほっと」の種を育てよう ～進花～



4月 ようこそ1年生



6月 みのり遠足



10月 みのりSF



11月 みのり登山



3月 6年生を送る集会

みのり班（縦割り班）を核とし、思いやり、協調性、自己肯定感を育みます。



【みのり班活動】



【みのりの時間】



【委員会活動】



【1・2年なかよしペア活動】



【みのり班班長引継ぎ式】

子ども一人一人が「自己の発達の可能性を最大限に発揮する」ことができるように支えていきます。

附属学校園間の連携をさらに進め、互いの絆を深めます。



＜附特交流＞



＜幼稚園交流＞



＜中学校見学＞

特色ある教育活動で、子どもの豊かな心を育みます。



＜弦楽部＞



＜合唱部＞

附属学校の使命を果たしていきます。



＜大学との共同研究＞